

# 全国高総文祭・郷土研究部門

## 三戸高クリエイティ部 最優秀

岐阜県で開催されている第48回全国高校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」は第2日の1日、13部門が行われた。県勢は三戸高校が郷土研究部門の「公共・政策」分野で最優秀賞に輝いた。

郷土研究部門には45校が出場し「歴史・考古」「地理・産業」「公共・政策」「ポスターセッション」の4分野で、生徒たちが調べた郷土の特徴や地域課題について研究発表した。

「公共・政策」には8校7チームがエントリー。三戸高校は、全国募集導入校として昨年創設された「クリエイティ部」の2年生6人が、地元三戸町の魅力創出策としてプロのクリエイターと取り組んだ魅力発信ポスターの制作や空き家改

装プロジェクトの活動を報告。部の活動が地域活性化につながり、少子高齢化などの課題解消に貢献できると発表し高評価を受けた。

同部の上田和奈さん(16)は「最優秀は信じられない思い。来年、再来年に三戸高に入学する生徒たちの目標になれたのではないかと喜びを語った。」

(秋元宏宣)



郷土研究部門「公共・政策」分野の研究発表で最優秀賞を受賞した三戸高校の生徒ら(同校提供)